環境報告書 2022

Environmental report

120th ANNIVERSARY

Toko Metal
CIRCULAR ECONOMY

東港金属株式会社

1 トップメッセージ

さらに身近なリサイクルパートナーを目指して

代表取締役　福田　隆

2022年7月20日、東港金属株式会社は創業120周年を迎えることができました。

1902年（明治35年）に非鉄金属の問屋として創業してから令和の今日まで、金属加工と産業廃棄物のリサイクル事業を通じて、資源循環型社会へ貢献すべく努力を続けてまいりました。2020年9月からは当社東港金属をコアとしてホールディングス化、資源循環の輪を広げております。

昨年度における「環境負荷低減の取り組み」において、全社共通目標として「資源受入量の拡大」及びペーパーレス化による「紙使用量の削減」の2つを掲げ、いずれも達成することができました。これもひとえにステークホルダーの皆様方からのご協力・ご支援の賜です。厚く御礼申し上げます。

昨年から千葉工場のシュレッダープラントにおけるLCA（Life Cycle Assessment）の算出を始めており、二酸化炭素排出量・削減量を定量的に評価する中で、CO_2削減へのさらなる改善策を探求してまいります。なお、集計した月ごとの削減量は当社ウェブサイト上で公開しております。

各種業務ではペーパーレス化を一層推進し、環境負荷の軽減及び業務の効率化に努めております。電子マニフェスト・電子契約サービスの活用推進などを始めとした業務改革を通して、廃棄物業界のDXカンパニーを目指しております。

昨今、脱炭素社会の実現に向けた再生資源へのニーズや、さらにはサーキュラー・エコノミーへの関心の高まりを一段と強く実感しております。今こそ再生原料の製造業者としての役割を果たし、この先の創業130周年、150周年に向け、サーキュラー・エコノミーを推進、独自の新たな価値を社会に提供することで、ステークホルダーの皆様にとってのさらに身近なリサイクルパートナーを目指してまいります。

2 目次

1 トップメッセージ …… 1
2 目次 …… 1
3 サイクラーズグループについて …… 2
4 編集方針 …… 2
5 東港金属株式会社について …… 3
会社概要 、事業概要、会員資格を有する主な団体等
事業所ロケーション、沿革、許可・認定・認証
6 環境マネジメントシステム …… 5
環境マネジメント体制、環境方針、
目標設定及び達成状況
7 事業活動と環境負荷 …… 7
マテリアルバランス、マテリアルバランス詳細
8 東港金属の責任と役割 …… 9
事業所リサイクルフロー、
環境安全管理の取組み、
環境に係わる教育・コミュニケーション、
地域との共生、事業所の安全衛生、
情報セキュリティマネジメントシステム
9 グループ会社紹介 ……20
サイクラーズ株式会社、トライメタルズ株式会社
TML 株式会社、トライシクル株式会社

3 サイクラーズグループについて

ビジョン In The Future
サーキュラーエコノミーを追求する。

使　命　Our Mission
全ての“モノ”に再循環をもたらす。

方　針　How we do
テクノロジーにより課題を解決する。
感動的なリサイクルサービスを提供する。

行動指針 Action Guideline
今、走り出そう。昨日よりも一歩前に。

- cyclers サイクラーズ 株式会社 — グループ統括　設立2020年
  - 東港金属株式会社 — 資源リサイクル・廃棄物処理　創業1902年
  - TML株式会社 — 収集運搬業　設立2006年
  - トライメタルズ株式会社 — 再生資源商社　設立2007年
  - トライシクル株式会社 — リサイクル系IT事業・中古品売買　設立2018年

4 編集方針

サイクラーズグループの東港金属株式会社は、当社の環境に関する考え方と取組姿勢を中心とした業務内容そのままを、定期的に報告することにより、ステークホルダーの皆様の良きリサイクルパートナーとして、事業活動の透明性、信頼性を評価、ご理解いただきたく、環境報告書を作成いたしております。お気づきになりましたことなど、ご指摘ご指導賜りたくお願い申し上げます。
また、本報告書にはサイクラーズグループ各社の業務紹介を掲載いたしました。

【対象組織】
環境目標設定及び達成状況の対象組織は、ISO14001と同じくサイクラーズ株式会社、東港属株式会社及びTML 株式会社としました。

【対象期間】
主に東港金属株式会社の第77 期（2021年1月～2021年12月）をまとめたものですが、報告内容には出来るだけ最新の情報を記載するように努めました。

【準拠、参考ガイドライン】
環境省「環境報告書ガイドライン（2012 年版）」を基に「環境報告書ガイドライン（2018 年版）」を参考にして作成いたしました。

【発 行】
令和４年９月

【お問い合せ先】
サイクラーズ株式会社　経営企画部
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-17-17 U biz 大森 2F
TEL：03-6410-8797　　FAX：03-5767-8870

今までの環境報告書は、当社のホームページからご覧になれます。　https://www.tokometal.co.jp/

5 東港金属株式会社について

5-1　会社概要

社　　名　東港金属株式会社　Toko Metal co.,Ltd.
代 表 者　代表取締役　福田　隆
創　　業　1902年（明治35年）7月
資 本 金　1 億円
従業員数　141名（2021年12月末日現在）
年　　商　96.2億円（2021年12月期）
事 業 所　本社、京浜島工場、千葉工場、東京事務所
持株会社　サイクラーズ株式会社
グループ会社　トライメタルズ株式会社
　　ＴＭＬ株式会社
　　トライシクルズ株式会社

5-2　事業概要

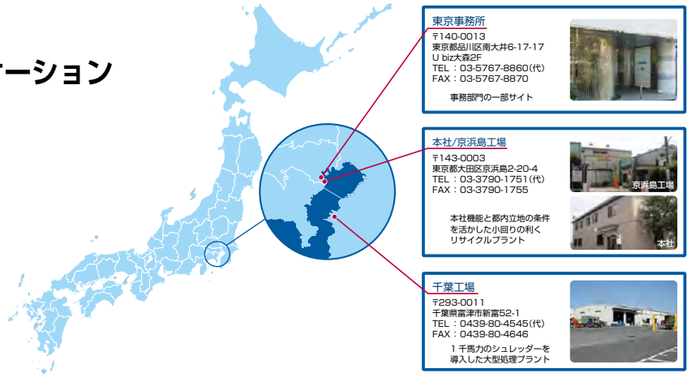
◆金属スクラップ全般に関する業務（国内 / 輸出入）
◆産業廃棄物の収集運搬及び保管積み替え、中間処理、再生並びに資源リサイクル事業
◆リサイクル機器並びに中古の建設機械の販売及び輸出入
◆廃プラスチックのリサイクル事業
◆事務用機器の破砕、解体の事業及び請負業
◆その他

5-3　会員資格を有する主な団体等

団体名	役職（代表取締役　福田　隆）
環境省	環境省中央環境審議会専門委員
	地球環境部会所属専門委員
	フロン類等対策小委員会専門委員
(一社)東京都産業資源循環協会	理事
	中間処理委員会･破砕･圧縮分科会リーダー
	＊女性部会 幹事
(一社)日本産業機械工業会	環境装置部会　環境ビジネス委員会 委員
(一社)千葉県産業資源循環協会	
(一社)日本鉄リサイクル工業会	
(一社)廃棄物処理施設技術管理協会	
非鉄金属リサイクル全国連合会	リサイクル環境推進部会　部会長
東京非鉄金属商工協同組合	リサイクル環境推進部会　部会長
品川リサイクル事業協同組合カムズ	理事
城南鋳物団地協同組合	理事
電線リサイクル協議会	
(一社)循環経済協会	循環経済分野に関する国際戦略研究会　委員
	JWG14対応支援委員会　委員

＊：福田代表取締役以外が就任している部会等

5-4　事業所ロケーション



東京事務所
〒140-0013
東京都品川区南大井6-17-17
U bizⅡ 2F
TEL：03-5767-8860(代)
FAX：03-5767-8870
事務部門の一部サイト

本社/京浜島工場
〒143-0003
東京都大田区京浜島2-20-4
TEL：03-3790-1751(代)
FAX：03-3790-1755
本社機能と都内立地の条件を活かした小回りの利くリサイクルプラント

千葉工場
〒293-0011
千葉県富津市新富52-1
TEL：0439-80-4545(代)
FAX：0439-80-4646
1千馬力のシュレッダーを導入した大型処理プラント

5-5　沿革

1902年	創業者福田勝西が東京市神田に伸銅品と非鉄金属問屋を開業
1947年	会社組織とし、(株)福田地銅店(製品問屋業)と東港金属(株)(地金問屋業)を設立
1960年	東京精錬(株)(後の東京銅基合金工業(株))を設立、銅合金の精錬及びインゴットの製造を行う
1979年	東京銅基合金工業(株)と東港金属(株)の工場を京浜島に移転
1994年	電線リサイクル処理(ナゲット)プラントを導入、京浜島工場に設置 産業廃棄物収集運搬業と中間処理業(切断･破砕)の許可を取得
1997年	東港金属(株)が東京銅基合金(株)を吸収合併する
2001年	家電リサイクル法に基づき指定引取場所となる
2002年	東京都とエコトライ協定を締結
2003年	家電リサイクル指定引取場所及びスクラップ取り扱い増を目的とした京浜島工場第二ヤードを開設
2006年	環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証取得
2007年	東京都港区芝に東京事務所を開設 千葉県富津市に千葉工場を開設
2008年	京浜島工場第三ヤードを開設
2009年	千葉工場が産業廃棄物中間処理業の許可取得 情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001)の認証取得 千葉工場をISO14001認証範囲に拡大登録
2010年	東京都産廃エキスパート認定取得 天童支店開設 京浜島工場に産廃選別ライン導入 家電リサイクル法の指定引取場所を閉鎖
2011年	東京都産廃エキスパート認定更新
2012年	産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定取得（除：埼玉県、福島県） 東京都で産業廃棄物処分業の優良確認認定 京浜島工場第四ヤードを開設 東京都品川区南大井に東京事業所移転
2013年	千葉工場内に保税蔵置場の許可取得 埼玉県で産業廃物収集運搬業の優良確認認定
2014年	千葉工場のプレシュレッダー設置許可取得 千葉県で産業廃棄物処分業の優良認定 東京都産廃エキスパート認定更新
2015年	千葉工場の施設としてプレシュレッダー追加及び保管施設変更の許可取得 千葉工場が自動車リサイクル法に基づく破砕業の許可を取得 京浜島工場にベットマット処理機設置
2016年	スクラップ船積み輸出開始 京浜島工場第五ヤードを開設、圧縮油圧切断機の稼動開始
2017年	福島県で産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定
2018年	東京都産廃エキスパート認定更新
2019年	天童支店を山形東根市へ移転し、東北支店と名称変更 千葉工場 港ヤード開設
2020年	東北支店閉鎖 東京都産廃エキスパート認定更新 千葉工場の再選別プラント完成　　試運転開始 持株会社サイクラーズ(株)のグループ会社となる
2021年	千葉工場に微細物選別ライン導入 低品位ミックスメタルやシュレッダーダストから金属分を回収
2022年	創業120周年を迎える

5-6　許可･認定･認証

◆産業廃棄物収集運搬業
◆産業廃棄物処分業(中間処理)
◆自動車リサイクル法に基づく破砕業(千葉工場のみ)
◆古物商
◆東京都　産廃エキスパート認定(中間処理及び収集運搬業)
◆第1種フロン類充填回収業者登録
◆ISO14001認証
本社・本社(京浜島)工場、千葉工場、東京事務所
ＴＭＬ株式会社 本社営業所
サイクラーズ株式会社
◆ISO27001認証
本社・本社(京浜島)工場、千葉工場、東京事務所
サイクラーズ株式会社

東港金属及びＴＭＬ株式会社　(特別管理)産業廃棄物収集運搬業 許可一覧表

＊当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。
当社及び TML 株式会社のホームページからもアクセスできます。

2022年5月16日現在

会社名	取得都道府県名		許可品目（●は石綿含有物質を含む、◎は水銀使用製品廃棄物を含む、◉は石綿含有物質及び水銀使用製品廃棄物を含む）																	
			産業廃棄物												特別管理産業廃棄物				優良産廃処理業者認定制度による優良認定
			汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くず コンクリートくず ガラスくず、	がれき類	廃酸 PH2.0以下	廃アルカリ PH12.5以上	廃石綿等	廃油（軽油類に限る 灯油類及び揮発油類、）	
東港金属株式会社	産業廃棄物	岩手県					◉	○	○	○			◎	◉	●					○
		福島県	○	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		茨城県		○			◉		○				◎	◉	●					○
		栃木県		○			◉	○	○	○			◎	◉	●					○
		埼玉県	○	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		千葉県	◎	○	○	○	◉	○	○	○	○		◎	◉	●					○
		東京都	◉	○	○	○	◉	○	○	○	○		◎	◉	●					○
		神奈川県	◎	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		静岡県					◎		○				◎	◎	○					○
TML株式会社	産業廃棄物	岩手県					◉	○	○	○			◎	◉	●					○
		秋田県	◉	○	○	○	◉※	○	○	○		○	◎※	◉※	●					
		山形県	◉	○	○	○	◉※	○	○	○		○	◎※	◉※	●					
		福島県					◉	○	○	○			◎	◉	●					○
		茨城県	○	○			◉	○	○	○			◎	◉	●					○
		栃木県	◉	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		群馬県	◎	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		埼玉県	○	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		千葉県	◎	○	○	○	◉※	○	○	○	○	○	◎※	◉※	●					○
		東京都	◎	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		神奈川県	◎	○	○	○	◉	○	○	○	○	○	◎	◉	●					○
		長野県	○	○	○	○	●	○	○	○	○		○	●	●					○
		静岡県					◉	○	○	○		○	◎	◉	●					○
		愛知県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	産業廃棄物特別管理	千葉県														○	○	○		○
		東京都														○	○	○		○
		神奈川県														○	○	○	○	○

※ TML は、秋田県、山形県及び千葉県の産業廃棄物の許可品目の中で、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず 及び 陶磁器くず には自動車等破砕物を含みます。

注）「廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令」が改正され、産業廃棄物収集運搬業(積替えなし)及び特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替えなし)の許可が合理化され、これまでは(特別管理)産業廃棄物の収集運搬については、積卸しを行う全ての都道府県又は政令市の許可を受けなければなりませんでしたが、平成23年4月1日より原則として、一の政令市を越えて収集運搬を行う場合は、都道府県の許可のみで当該都道府県内全域で収集運搬を行なうことができるようになりました。

東港金属株式会社　産業廃棄物処分業許可一覧

2022年5月16日現在

取得都道府県	許可品目								優良産廃処理業者認定制度による優良認定
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くず コンクリートくず ガラスくず、	がれき類	
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	○	○	○	○		○	○		○

＊当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。
当社のホームページからもアクセスできます。

6 環境マネジメントシステム

6-1　環境マネジメントシステム体制

当社は、事業活動を進める中の様々な過程において環境負荷が生じることを認識し、環境マネジメントシステムの元で事業の環境活動に関わるリスクを的確に把握し、対応することで環境負荷を低減させ、持続可能な開発目標を達成させるための環境方針を定めております。

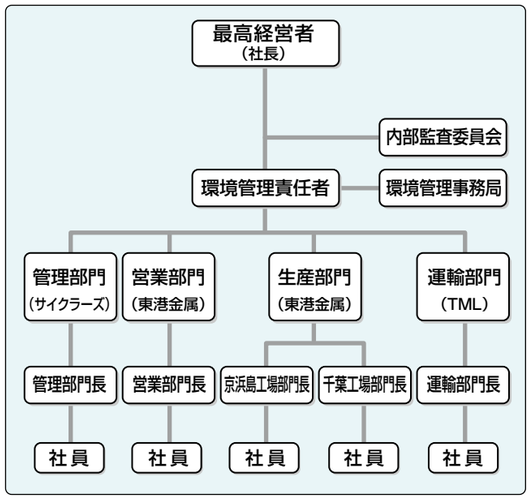
環境方針は常に職場内に掲示し、社内に周知させることで、社員が労働災害や労働疾病防止をはじめとする様々な側面を意識し、環境負荷の少ないリサイクル業務に取り組めるよう指導しております。

2006 年 6 月に ISO14001 を取得いたしました。

社長をトップとする推進体制で、定期的にフォローアップをすることで可視化し、環境方針に沿った管理体制の維持向上に努めています。

また 2020 年 9 月からは、持株会社サイクラーズのグループ会社として運営しており、サイクラーズ株式会社も環境マネジメントに含めた体制で推進しております。

環境管理推進体制



6-2　環境方針

サイクラーズ株式会社及び東港金属株式会社（以下、「当組織」という）は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できうる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. 当組織の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当組織の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当組織が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

（1）取扱商品の入荷量を拡大し、当組織より排出する産業廃棄物の削減を図り、天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。

（2）千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。

（3）各種車輌、重機等に使用する燃料の削減を図り、環境負荷削減を推進します。

（4）工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、環境負荷削減を推進します。

2022 年 1 月 1 日

サイクラーズ株式会社
東港金属株式会社
代表取締役　福田　隆

6-3　目標設定及び達成状況

◆環境負荷低減への取り組み

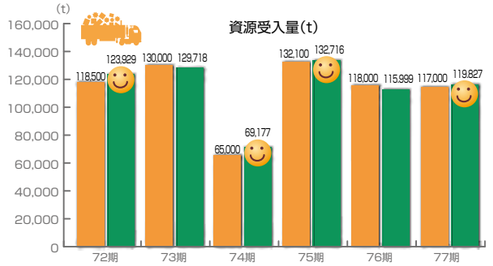
当社は、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上化の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。
このページでは ISO14001 の適用範囲（本社、京浜島工場、千葉工場、東京事務所、TML株式会社及びサイクラーズ株式会社）の第77期環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。

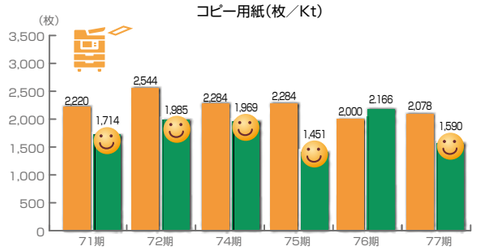
部門	77期目標 推進項目	施策	期間目標	結果・数値	達成度
全社共通	資源受入量の拡大	（1）仕入先の拡長（顧客拡大）	117,000トン／年 の達成	119,827トン／年	対目標値に対して2.4%増の達成
	紙使用量の削減 ※1	（1）計量システム導入 （2）裏紙の使用 （3）不要資料の削減徹底 （4）配布資料及び配布先の適正化	2,078枚／千トン の達成	1,590枚／千トン	対目標値よりも更に23.5%の削減達成
本社／京浜島工場 TML㈱	燃料使用量削減（運搬車輌）	（1）アイドリングストップの励行 （2）アクセルの吹かし過ぎ防止 （3）急発進の防止 （4）効率的な積み降ろし・運搬 （5）車輌の定期点検・整備	800ℓ／千トン の達成	554ℓ／千トン	対目標値よりも更に30.8%の削減達成
	燃料使用量削減（重機）	（1）アイドリングストップの励行 （2）アクセルの吹かし過ぎ防止 （3）効率的な積み降ろし・運搬 （4）車輌の定期点検・整備	1,619ℓ／千トン の達成	1,275ℓ／千トン	対目標値よりも更に21.2%の削減達成
	電力使用量の削減 ※4	（1）破砕機モーター稼働時のライン設備トラブル減少 → データー取り、改善推進 （2）定期的メンテナンスの実施	11,066kWh／千トン の達成	7,697kWh/千トン	対目標値よりもさらに30.4%の削減達成
千葉工場	電力使用量の削減 ※5	（1）破砕機モーター稼働時のライン設備トラブル減少 → データー取り、改善推進 （2）定期的メンテナンスの実施	48.46kWh／トン の達成	49.55kwh／トン	対目標値に対して2.2%の未達成
	シュレッダーの稼働率アップ	（1）ライン整備による ①稼働率アップ ②シュレッダーの停止時間の削減	累計稼働率95.0%以上の達成 停止時間138.1H／年以内の達成	稼働率 95.3% 停止時間 103.7H/年	対目標値よりも稼働率は0.3ポイント改善 停止時間は更に24.9%の改善達成

※1　紙使用量原単位=コピー用紙 A4 換算使用枚数 /（京浜島工場入出荷量 + 千葉工場入出荷量）
※2　燃料使用量原単位（運搬車両）=運搬車両燃料使用量 / 京浜島工場品入出荷量
※3　燃料使用量原単位（重機）=重機用燃料使用量 / 京浜島工場品入出荷量
※4　電力使用量原単位（本社）=電力使用量 / 京浜島工場品入出荷量
※5　電力使用量原単位（千葉工場）=電力使用量 / 千葉工場入荷量
注）※2～5の項目は、月平均で目標管理を行っておりますが、ここでは期末での累計値で達成状況を記載しております。

◆東港金属株式会社及びＴＭＬ株式会社の共通推進項目の目標と実績

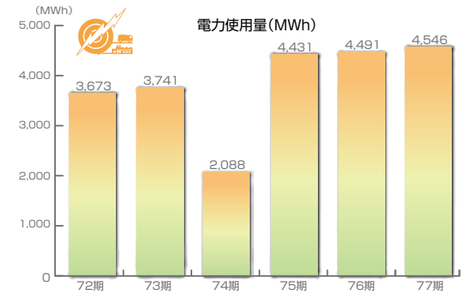
目標達成　目標　実績

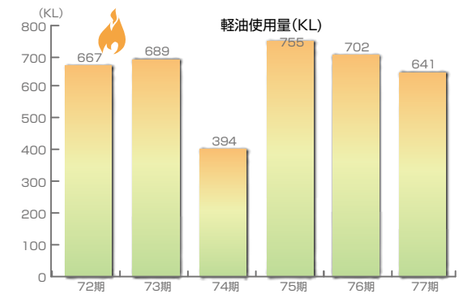




第73期は数値目標から設備導入計画としたため、数値評価はありませんでした。

◆グループ全社合計の電力及び軽油使用量実績

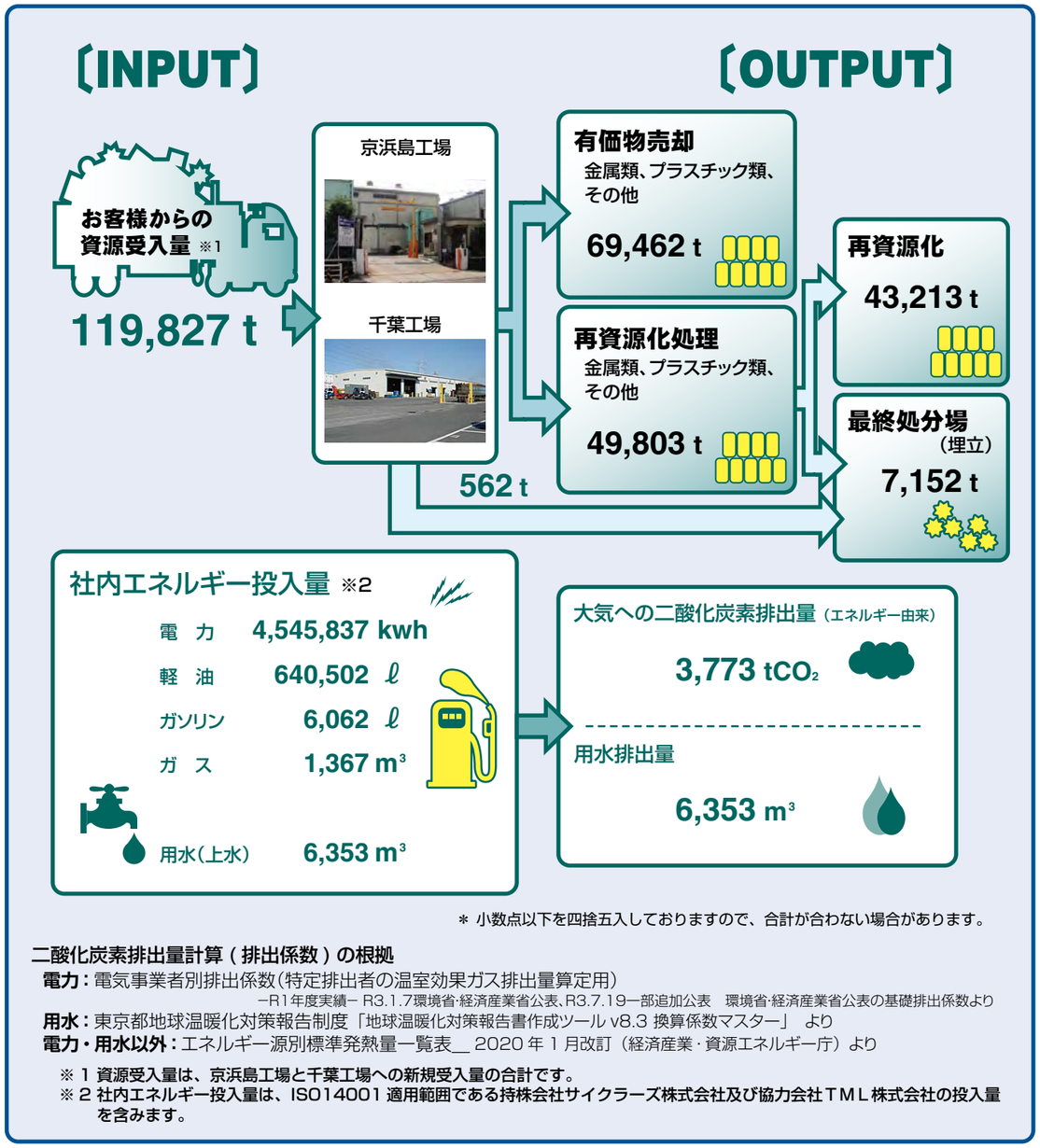




7 事業活動と環境負荷

7-1　マテリアルバランス

当社事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けてまいります。第 77 期（2021 年 1 月～12 月）の主な環境負荷は以下のとおりです。



＊ 小数点以下を四捨五入しておりますので、合計が合わない場合があります。

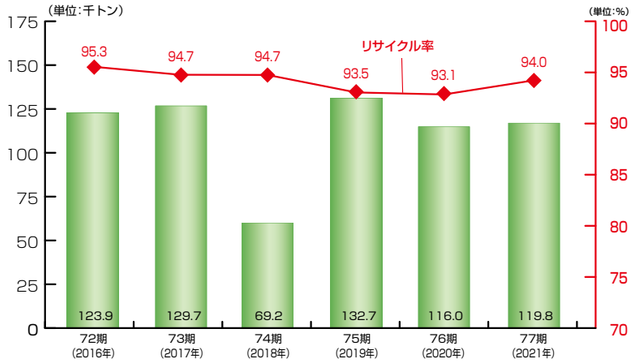
二酸化炭素排出量計算（排出係数）の根拠

電力：電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）
−R1年度実績− R3.1.7環境省·経済産業省公表、R3.7.19一部追加公表　環境省·経済産業省公表の基礎排出係数より
用水：東京都地球温暖化対策報告制度「地球温暖化対策報告書作成ツール v8.3 換算係数マスター」 より
電力・用水以外：エネルギー源別標準発熱量一覧表__ 2020 年 1 月改訂（経済産業 · 資源エネルギー庁）より

※ 1 資源受入量は、京浜島工場と千葉工場への新規受入量の合計です。
※ 2 社内エネルギー投入量は、ISO14001 適用範囲である持株会社サイクラーズ株式会社及び協力会社ＴＭＬ株式会社の投入量を含みます。

7-2　マテリアルバランスの詳細

資源受入量とリサイクル率実績

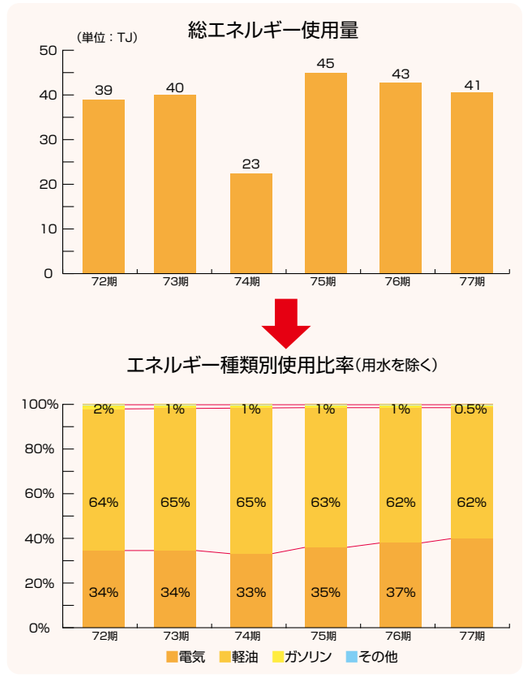


リサイクル率：

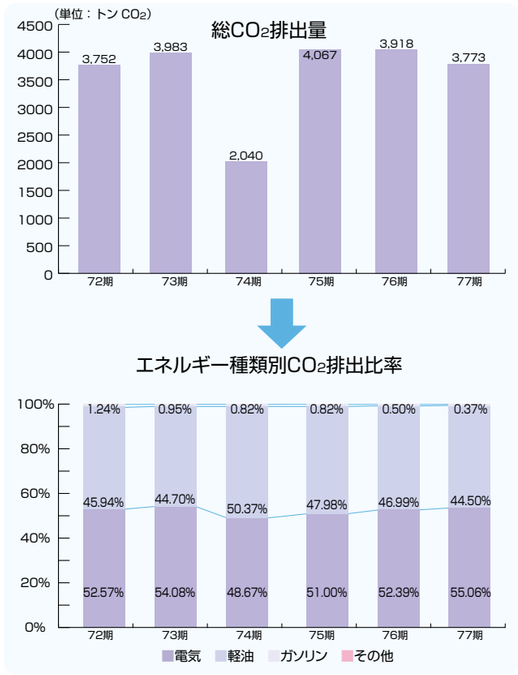
受入量に対して、東港金属の工場から搬送した先（二次処理先）の埋立率を考慮して求めた率。

$$1-\frac{(\text{直接埋立処分場への搬送量})+(\text{二次処理先への搬送量})\times(\text{二次処理先埋立率})}{\text{受入量}}$$

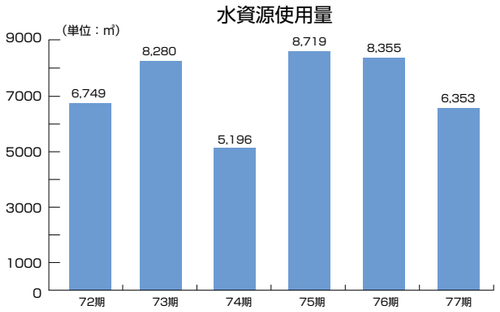
INPUT



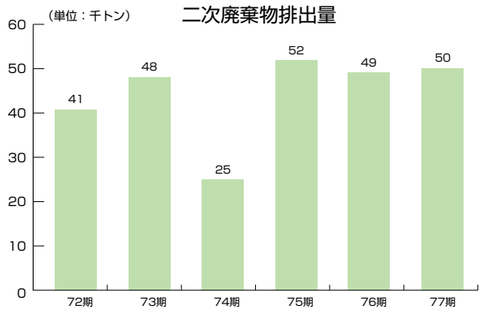
OUTPUT



水資源使用量



二次廃棄物排出量



cyclers

8 東港金属の責任と役割

8-1　事業所リサイクルフロー

京浜島工場リサイクルフロー

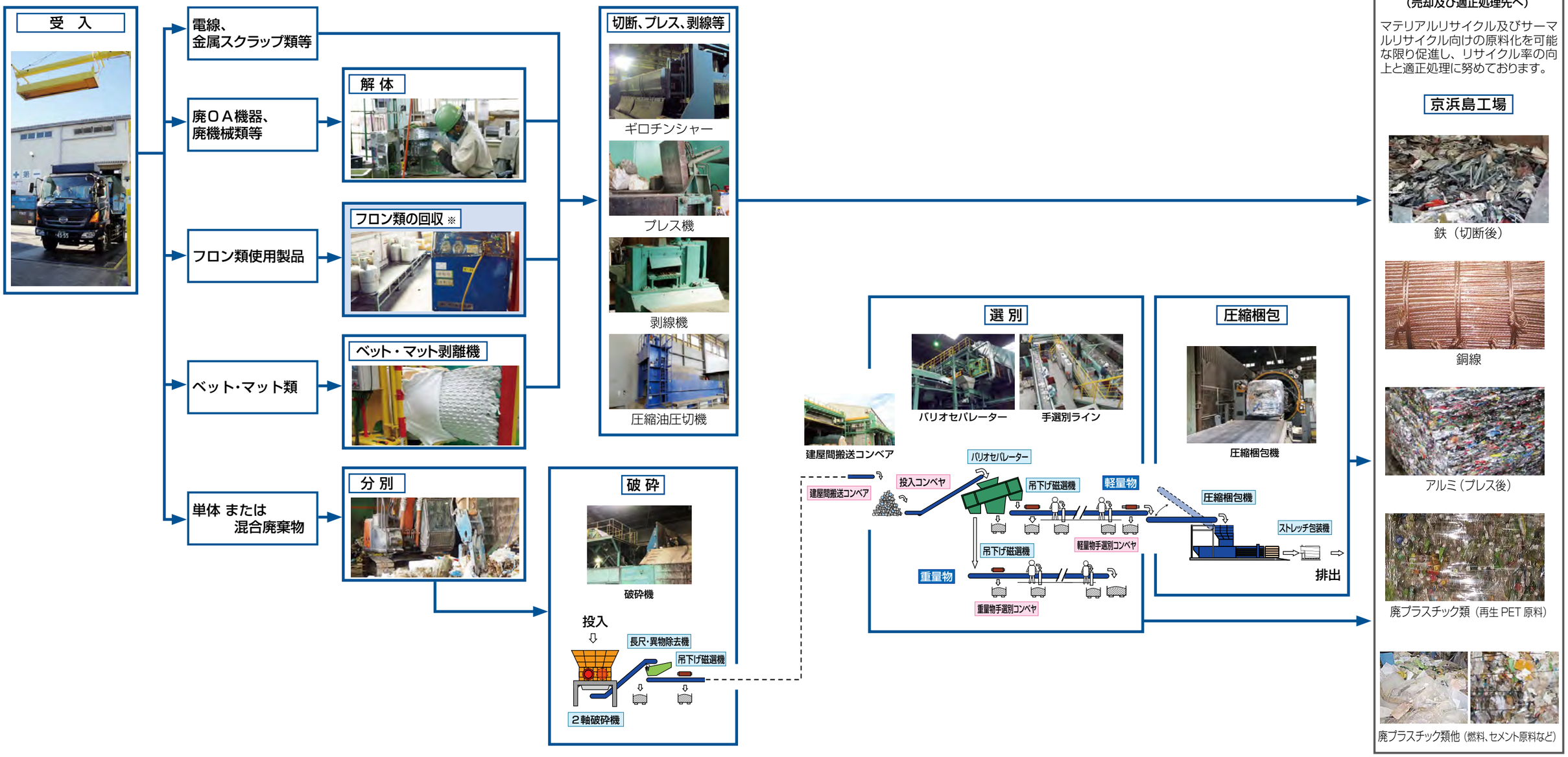
京浜島工場では、多品目の取り扱いと徹底した選別で、出来る限り資源として循環することを目指しております。

※フロン類の回収

オゾン層の保護及び地球温暖化の防止のため、オゾン層を破壊したり、地球温暖化に深刻な影響をもたらしたりするフロン類の大気中への排出抑制やフロン類使用製品からの漏えい防止を目的に、フロン排出抑制法（改正フロン回収・破壊法）が制定されております。

当社は、東京都の第一種フロン類充填回収業者として登録をし、搬入された業務用のエアコンや冷蔵庫の中に入っている冷媒用フロンを適正に回収し、破壊処理業者に引き渡しております。

気候変動が身近にも感じられています今、大気中に放出されるとオゾン層破壊や地球温暖化などを起こす一因となるフロンを正しく処理することで、フロン排出抑制法に対応して参ります。

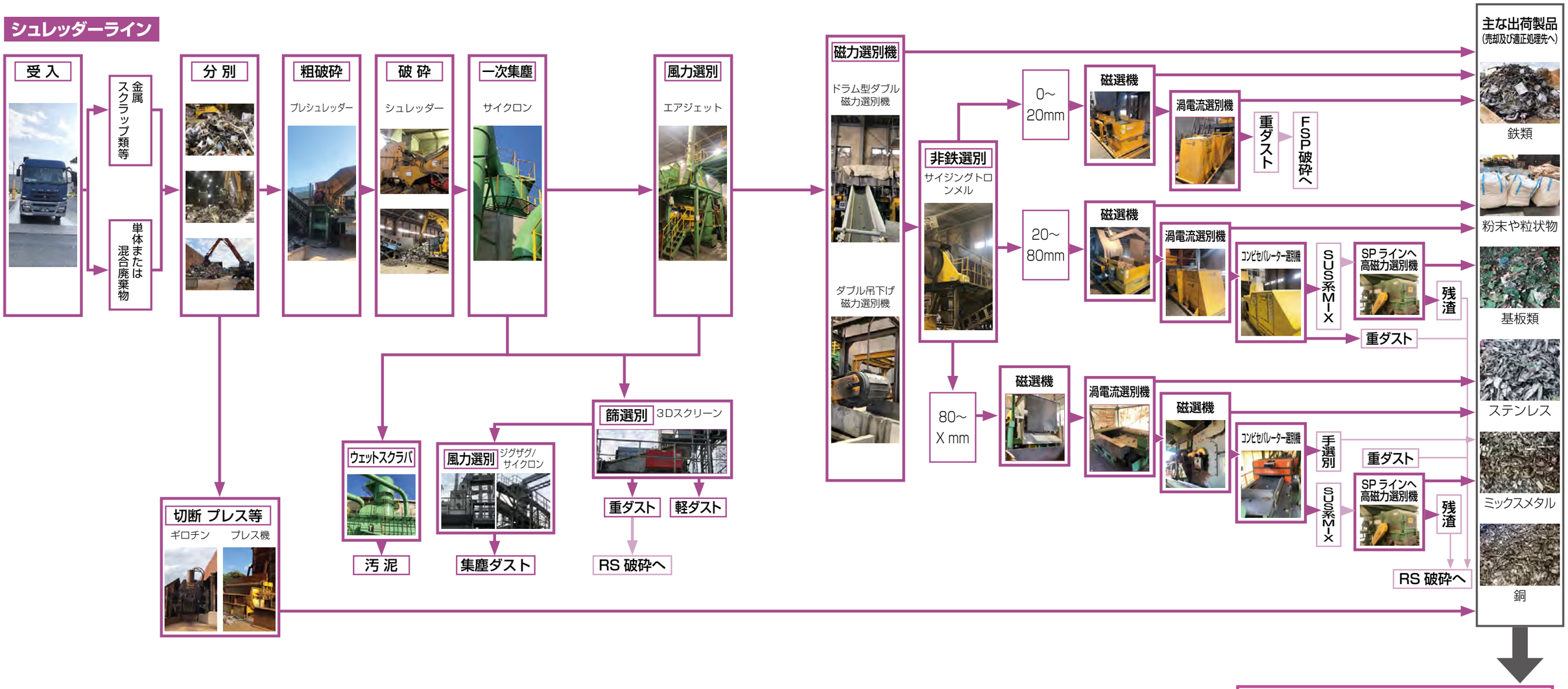


cyclers

千葉工場リサイクルフロー　1

　千葉工場では、破砕と選別工程に最新鋭の設備を導入しております。
主破砕には１千馬力のシュレッダーを導入し、シュレッダーで破砕した後は、磁選機・カラー選別機・手選別の他に
各種選別ラインにより徹底した選別を行いリサイクル率の向上に努めております。

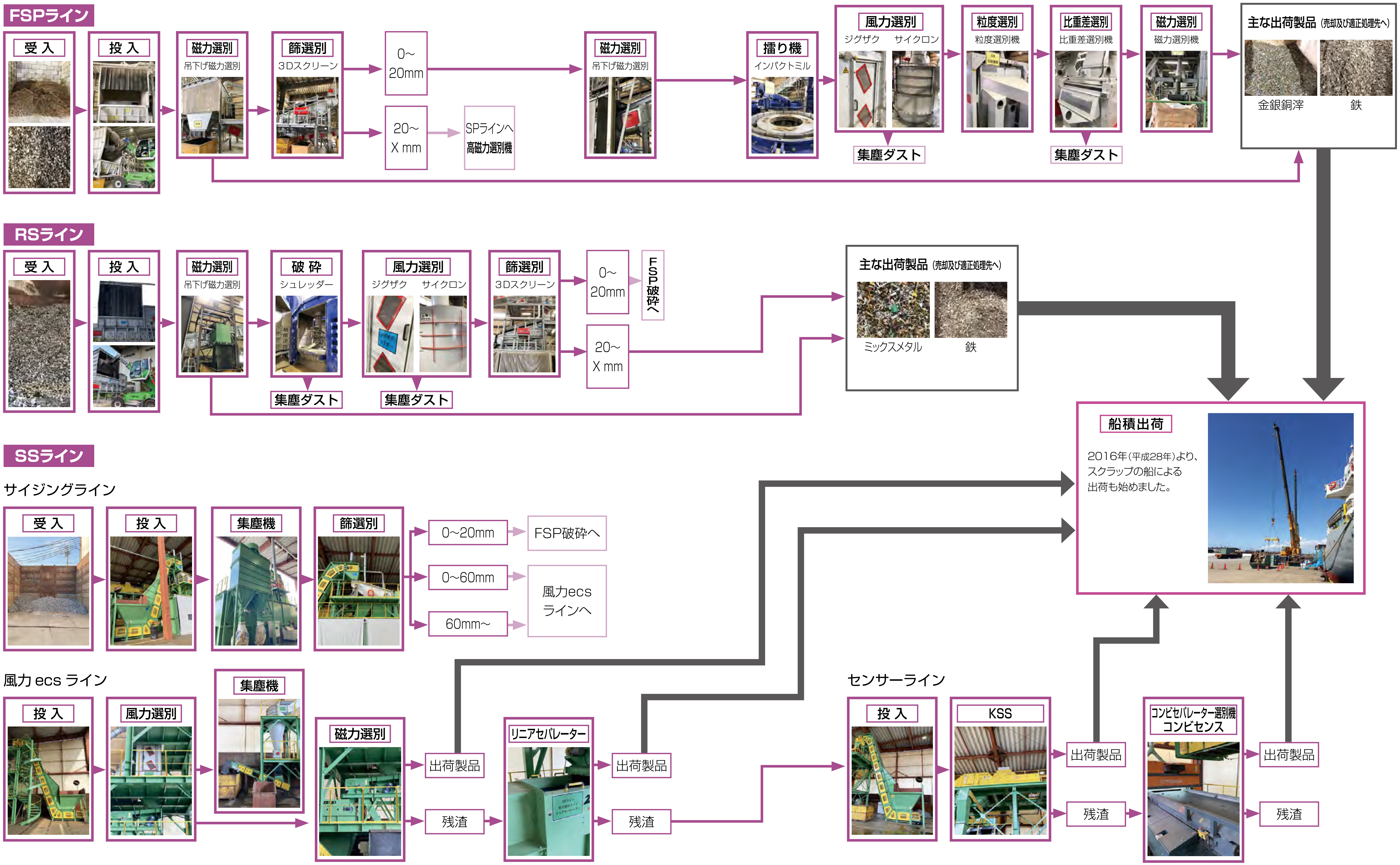
シュレッダーライン



船積出荷

2016年(平成28年)より、
スクラップの船による
出荷も始めました。

千葉工場リサイクルフロー　2



8-2　環境安全管理の取組み

当社は、事業活動、製品及びサービスに付随して現れる汚染等の環境側面を常に認識して、周辺地域への環境に配慮しその予防に努めております。京浜島工場、千葉工場の業務に伴って発生する騒音・振動・悪臭・粉じん、及び構内から排出される雨水中の含有物質を自主的に測定し、皆様に開示しております。

今事業期の測定値は規制基準値（場合によっては自主規制基準値）内でした。今後もわずかな問題点にも処置対応を怠ることなく、地域周辺の環境保全に努め、環境保全水準の向上を図ってまいります。

下記環境調査結果の概要版は当社ウェブサイトにも公開しております。

【京浜島工場】

騒音・振動

粉じん

悪臭

水質

【千葉工場】

騒音・振動

粉じん

悪臭

水質

第 77 期　東港金属株式会社環境調査結果（騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水）

調査実施機関　：　株式会社環境総合研究所【計量証明登録　濃度第 592 号、音第 7 号、振動 1 号】
調 査 期 日
　京浜島工場：　令和 3 年 5 月 14 日（金）
　千 葉 工 場：　令和 3 年 5 月 17 日（月）
調 査 方 法　：　当該地域を規制する条例等の調査方法を採用（詳細は、弊社ホームページをご参照ください）
調 査 結 果　：　適否の欄の記号は次のとおり。　○：規制基準を満足　　×：規制基準を超過

1. 騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果（騒音レベル）	適否	規制基準	騒音測定時の状況
京浜島工場	敷地境界（東）	10:02～10:12	67dB	○	70dB（参考）	工場内の稼働音
千葉工場	敷地境界（南）	10:24～10:34	<59dB	○	70dB	工場内の稼働音

注）京浜島工場：工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。
　　千葉工場：工業地域であるため、第4 種区域の基準を当てはめた。

2. 振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果（振動レベル）	適否	規制基準	騒音測定時の状況
京浜島工場	敷地境界（東）	10:02～10:12	45dB	○	65dB（参考）	工場稼働
千葉工場	敷地境界（南）	10:24～10:34	57dB	○	65dB	工場稼働

注）京浜島工場：工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第2種区域の規制基準を参考に示した。
　　千葉工場：当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

3. 悪　臭

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果（臭気指数）	適否	規制基準
京浜島工場	敷地境界（東）	10:15	<10	○	13
	敷地境界（北）	10:30	<10		
千葉工場	敷地境界（北）	10:23	<10	○	—
	敷地境界（南）	10:12	<10		

注）京浜島工場：当該地域は工業専用地域であるため、第3種区域の基準値をあてはめた。
　　千葉工場：富津市は臭気物質規制であり、臭気指数規制値はまだ規定されていない。

4. 粉じん

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果（粉じん）	適否	規制基準
京浜島工場	敷地境界（東）	9:25～13:25	0.28mg/㎥	○	1.5mg/㎥（参考）
千葉工場	敷地境界（南）	9:56～13:56	0.25mg/㎥	○	1.5mg/㎥（参考）

注）東京都、千葉県ともに施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに茨城県条例で粉じん発生施設に適用される基準値と比較した。

5. 雨水排水

「下水の水質の検定方法等に関する省令（昭和37 年厚 ·建令1）」に基づき、下記項目について調査を実施。
全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。

調査項目：
カドミウム、全シアン、有機燐、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2－ジクロロエタン、1,1－ジクロロエチレン、シス－1,2－ジクロロエチレン、1,1,1－トリクロロエタン、1,1,2－トリクロロエタン、1,3－ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガン、BOD、SS、n －ヘキサン（鉱油）、n －ヘキサン（動植油）、全窒素、全リン、水素イオン濃度（pH）、温度、沃素消費量、1,4 －ジオキサン

環境関連法規制遵守の現状

環境の法規制で当社及び TML 株式会社に係るものは以下のとおりです。
第 77 期で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境側面		法、条例、等	要求事項（当社該当主要項目のみ）	主な該当施設等	主な該当部署	必要資格
自動車運行	運搬車輌・自家用車	道路交通法	①自動車免許、速度制限、積載制限	運搬車輌・自家用車	運輸部門 営業部門	大型・普通免許
		NOx・PM法	①規制対応車種 ②PM減少装置の取り付け			
	運搬車輌	道路運送法、貨物自動車運送事業法	運行管理者の選任	運搬車輌	運輸部門	運行管理者試験合格者
[業] ＊廃棄物の受入 ＊収集運搬（積替保管*）及び処分業	金属屑、廃プラ類、ガラス·コンクリート·陶磁器屑、繊維屑、木屑、紙屑、ゴム屑、がれき類、小型家電	廃棄物処理法 小電リサイクル法	①廃棄物の収集運搬（積替保管*）及び処分業の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニュフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約：許可番号、事業の範囲、有効期限、処理能力、重量、単価等の記載 ⑦産廃最終処分業者の処分場視察 ⑧環境に負荷を与えない施設の維持管理 ⑨資源化を推進し、最終処分量の削減 ⑩地域住民との協調	業として被処理物の受け入れ	全体	収集運搬業（積替保管*） 中間処理業 古物商
[事業者] 廃棄物の排出	産業廃棄物の排出			業務全般からの排出		
水銀廃棄物の管理	水銀使用製品廃棄物	廃棄物処理法施行令	水銀廃棄物の適正な管理	運搬車両	運輸部門	収集運搬業
[業] 廃家電品の積替保管	廃家電品	家電リサイクル法	①廃家電品の積替保管 ②家電リサイクル指定引き取り場所への搬出	積替保管場所	運輸部門	積替保管施設
[事業者] 廃家電等電気製品の排出	特定家庭用機器廃棄物、パソコン	家電リサイクル法 改正リサイクル法			事務部門 生産部門	—
トラックスケールの使用	トラックスケール	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定 1回/2年　検査	トラックスケール（20t·40t·50t）	生産部門	—
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	工場棟及び工場内設備	生産部門	—
フロン類の回収	業務用空調機·業務用冷蔵庫からのフロン回収	フロン排出抑制法	①東京都知事による登録 ②適正回収、行程管理制度、引取証明書の交付	フロン回収設備等	生産部門 営業部門	第一種フロン類回収充填業者登録
フロン漏洩	フロン使用機器		エアコン機器の定期点検	フロン使用機器	全体	—
排気ガスの放出	非常用ディーゼル発電機	大気汚染防止法	はい煙排出基準規制の遵守 はい煙量の測定監視	非常用ディーゼル発電機	千葉工場	—
悪臭の発生	工場操業	悪臭防止法	臭気指数基準の順守	工場棟及び工場内設備	京浜島工場 生産部門	—
材料およびエネルギーの使用を物品の購入時に考慮	物品の購入	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務所	事務部門	—

*収集運搬業で「積替保管」の許可は東港金属のみです。

環境会計

当社としての環境会計の算出方法を模索しておりますが、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて（2000年3月）」に記載されておりますように、環境保全コストの把握に関しては今後の課題とさせていただきます。

<参考>
「本業として環境ビジネス（公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理·リサイクル事業等）に取り組む場合の環境保全コストの把握（測定）に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握（測定）·公表することを妨げるものではありません。この問題については今後の課題とさせていただきます。」　平成12年3月　環境庁　環境会計システムの確立に関する検討会　「環境会計システムの確立に向けて（2000年3月）」より抜粋

グリーン購入の促進

当社では社内の物品調達について、共有使用できるものやリユースできるものの再使用をすすめておりますが、購入に際しても、環境に配慮した品質や価格だけで調達するのではなく、グリーン購入の考えに則した環境負荷低減に資する製品を積極的に使用することに努めております。

バリューチェーンにおける環境配慮等の取り組み方針

当社の事業活動におけるバリューチェーンに係わる全ての環境に対する影響を把握し、その中で環境負荷の大きなものを環境方針の重点テーマとして改善を図っております。

8-3　環境に係わる教育・コミュニケーション

環境意識の社内啓発

入社時には環境・衛生の基本教育に加え、当社のビジネスが地球環境保全に直接かかわる事業であることを意識付けするために、事業活動に付随して生じる環境影響と地球環境保全の大切さを伝えております。
全社員に向けては、継続的に改善していくための環境マネジメントシステム（ISO14001）について、環境方針と環境管理体制を教育することで、社員全体の環境保全意識と組織力が向上するように継続的な社内啓発に努めています。

安全運転講習会

当社業務の中の大きな柱となる物流について、グループ会社 TML 株式会社と共に、プロのドライバーとして責任を持って仕事に従事するため、年間教育プログラムや外部講師を招いての講習会を毎月開催しております。「安全・確実・迅速」をモットーとし、安全が全てに優先することの大切さを始めとして、エコドライブや道交法の確認、周囲への気配り等に社員の意識アップを図っています。また、TML 株式会社では、所属する東京都トラック協会主催の交通安全や交通公害についての講習会への参加を奨励しています。

在宅勤務やオンライン会議システムの導入

事業所間の移動時間の削減、ペーパレス化及び在宅勤務への対応を進めるため、オンライン会議システムを全ての事業所に導入しております。事業所間での個別会議は勿論、定例会議も、各事業所内および在宅から参加できることは、正確で迅速な意思決定がその場で参加者全員に伝わるなどのメリットに加え、同一資料を相手の顔を見ながら会話できることで、社員の一体感も強くなるという目に見えない付加価値も得られております。更に移動に伴う温室効果ガス（CO_2）排出も抑えられるという効果をも生み出しています。

マンオブザマンス表彰制度（担当職務に最善を尽くしています）

構内ヤードでの日々のメンテナンスと、安定した業務に努めた方々、輸送部門で安全・迅速・丁寧な運転、効率を考えた運行に努めたメンバーを「月間ＭＶＰ」として表彰しています。

ドライバー部門

ヤード部門

情報紙「羅針盤」の発行

産業廃棄物処理業界の相場状況及び改正された法律の内容紹介などの参考情報や、当社のトピックスを羅針盤というニュース紙として、2010 年 3 月に第 1 号を発行して以来、毎月発行しております。今までのバックナンバーは東港金属のホームページからご覧いただけます。　　http://www.tokometal.co.jp/rashinban/index.html/

社員の主な資格（資格取得の奨励）

毎日の安全作業のため、また業務効率を向上させるために、重機等機械設備の知識及び作業技能や、担当業務に必要な資格等を修得するよう奨励し、従業員のスキルアップへの指導をしております。

2022 年 1 月 1 日現在

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
フォークリフト運転技能者	74	けん引免許	7	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	2
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	56	移動式クレーン運転士	7	整備管理者	2
玉掛作業者	53	危険物取扱者	5	救命技能認定	2
車両系建設機械（解体）運転者	41	防火管理者	5	特別管理産業廃棄物管理責任者	2
小型移動式クレーン運転士	30	安全管理者	5	PCB 廃棄物の収集運搬業従事者　(講習)	2
ガス溶接技能者	26	酸素欠乏危険作業主任者	4	大型自動車二種免許	2
アーク溶接作業者	21	クレーンデリック（クレーン限定）	4	ボイラー技士	2
大型自動車免許	19	冷媒回収技能者（登録講習会）	4	破砕・リサイクル施設技術管理士	1
クレーン運転士　5t 未満	15	ISO 14001 内部監査員	4	古物商許可	1
職長教育	14	特管産廃処理業の許可申請に関する講習会　収集運搬課程(新規)	4	産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程(更新)	1
高所作業車運転者	13	産業廃棄物処理業者講習会	3	２級土木施工管理技士	1
安全衛生責任者	12	産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会　収集運搬課程(更新)	3	特定化学物質作業主任者	1
床上操作式クレーン運転士	11	大型自動二輪車免許	3	陸災防安全衛生教育講師	1
はい作業主任者	9	有機溶剤作業主任者	2	ダイオキシン類特別教育インストラクター	1
大型特殊免許	8	第二種電気工事士	2	衛生管理者	1
移動式クレーン運転士 5t 未満	8	足場の組立て等作業主任者	2	不整地運搬運転者	1
安全衛生推進者	8	ISO 27001 内部監査員	2	特定粉じん作業者	1

8-4　地域との共生

アースフレンズ東京 Z（プロバスケットボールチーム B.LEAGUE）と『パートナー契約』をして環境保全を目指します

当グループは、東京都城南地区を本拠地として B.LEAGUE に所属しているプロバスケットボールチームのアースフレンズ東京 Z（以下､東京 Z）と 2019 年 12 月より『パートナー契約』を締結しています。ユニフォームスポンサーとして、東京 Z の選手が着用しているユニフォームに、サイクラーズグループのトライシクル株式会社が開発・運営している ReSACO <リサコ>のロゴが入っています。
東京 Z にはファンクラブがあります。ご興味のある方は是非ご加入ください。

自転車競技へのサポート

当グループは環境関連企業として、2011 年 8 月より公益財団法人 日本自転車競技連盟（JCF）のオフィシャルスポンサーとして自転車競技に参加する選手の皆様を応援しております。日本ナショナルチームのユニホームには「サイクラーズ」のロゴも使われています。
また、地元のスポーツ振興として、2021年11月に東京都大田区で活動している自転車チームの SNEL CYCLOCROSS TEAM を支援するためのスポンサー契約を締結いたしました。サイクラーズグループでも KBC(keihinjima-bicycle-club）として活動しています。

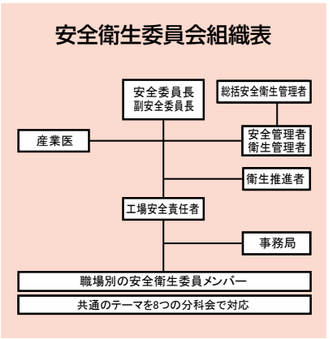
事業所周辺の美化運動

京浜島本社は大田区の京浜島工業団地に位置し、周りを京浜運河が流れています。この広々とした地域の環境保全を維持し、見学に来られるお客様や搬入車が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝本社周辺の道路及び搬入通路の美化清掃を行っています。

8-5　事業所の安全衛生

安全衛生委員会

当社及びＴＭＬ株式会社は、事業所別の安全衛生委員会を組織するとともに、８つの分科会を設置しテーマ別に積極的な推進・改善に取り組んでいます。
委員会には持株会社サイクラーズ株式会社の管理部門からも参画しております。



安全衛生環境会議

安全衛生環境会議を隔月で定期的に開催しております。
産業医の先生にも参加をお願いし、環境マネジメントシステム上のテーマとその進捗確認、生活の基本となる労働時間短縮を含めた職場環境の改善、メンタルを含む健康問題など、社員の健康保持に気を配ったテーマを意見交換しあい、確認をし、具体的なアクションにつなげています。

防災訓練

東港金属の京浜島工場及び千葉工場では、過去の大震災時の経験を忘れず、不意打ちを想定外と言わないように､防火､防災訓練（消火･避難）を毎月実施しております。また工場見学のお客様も増えていることから、不意の災害時に適切な避難誘導が出来るように、数多く訓練する中で災害・防災の正しい知識と技術を習得し、対応できるよう努めています。

安否確認システムの訓練

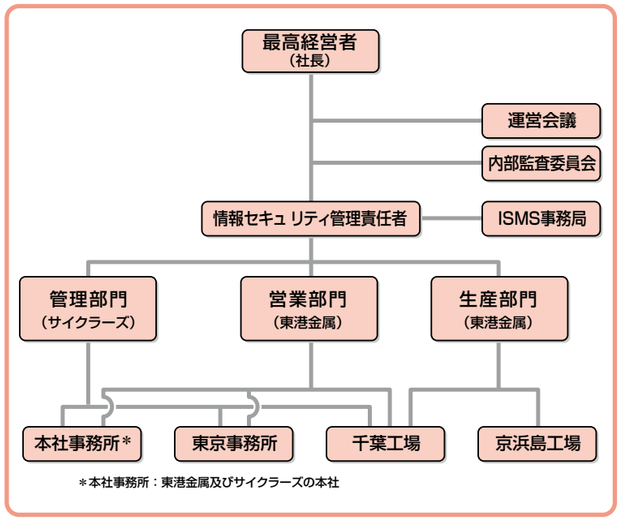
不意の災害時に、お客様をはじめ、社員や家族の安否と被災情報を把握し、会社としての迅速な対応が出来るように、「安否確認システムの訓練」を度々実施ししています。訓練を多く行うことで、全社員がインターネットを利用した二つのシステムにアクセスする安否確認ツールの扱いを習熟し、各持場での安否を報告できるようにすることで非常時に備えております。

分科会の目的と対策チームについて

	分科会名	目　的
1	事故対策分科会	①物損事故の対策 ②労働災害の対策
2	作業標準分科会	①作業手順書の見直し ②運行計画書の見直し
3	設備修繕分科会	①設備点検等の対策 ②機械修繕等の対策
4	環境対策分科会	①敷地内の環境対策 ②粉塵振動の対策
5	防火防災分科会	①火災と非難の対策 ②防災に関する対策
6	交通安全分科会	①安全運行等の対策 ②取引先等安全作業
7	盗難防止分科会	①情報収集の対策 ②盗難警備の対策
8	賞罰審査分科会	①賞罰に関する審査 ②事故に関する査定

8-6　情報セキュリティマネジメントシステム

情報セキュリティマネジメント体制



ネット社会の今、不正アクセスやコンピュータウイルスによる被害、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。

当社は、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001 の認証取得をいたしております。

当社は「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」や「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と会社全体の情報セキュリティを推進することが重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて対策を実行しております。

お客様がかけがえのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、マネンジメントシステムの構築、維持の Plan－Do－Check－Act のプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に社員一人ひとりの意識の浸透を図り、推進してまいります。

また、2020 年 9 月からは持株会社サイクラーズのグループ会社として運営しており、サイクラーズ株式会社も情報セキュリティマネジメントに含めた体制で推進しております。

情報セキュリティ基本方針

1. 目的と活動の原則

東港金属株式会社及びサイクラーズ株式会社（以下、「当組織」という）は、非鉄金属原料及び製鋼原料等の金属スクラップの加工処理並びに売買、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う関連部門間との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。

情報セキュリティマネジメントシステム（以下、「ＩSMS」という。）規格に準拠する ISMS の構築、維持の PDCA プロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当組織の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となり ISMS を実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

3. ISMS 組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にＩSMS事務局を設ける。

また、ＩSMSのＰＤＣＡプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。

情報セキュリティ管理責任者とＩSMS事務局は、当組織のＩSMS全般に亘る管理、運営を行う。

4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当組織の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。

また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。

なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

２０２２年１月１日

サイクラーズ株式会社
東港金属株式会社
代表取締役　福 田　　隆

9 グループ会社

昨今、世界的な人口増加や経済成長を背景に、大量生産・大量消費・大量廃棄が繰り返され、廃棄物が自然環境を汚染し、生態系にも甚大な被害を与えています。地球環境を守りながら経済活動を持続するためには、従来の動脈産業・静脈産業という二極化した構造に捉われることなく、新しい循環型社会の形成に取り組まなければなりません。今、資源循環の効率化だけでなく、廃棄物ゼロの循環型経済モデル『サーキュラーエコノミー』の実現が必要不可欠となっております。

私たちサイクラーズグループは「総合リサイクラー」の私たちだからできる責任と役割を果たすために、長年培ってきたノウハウとあらゆるテクノロジーを駆使して、『サーキュラーエコノミー』とその先の世界を追求してまいります。

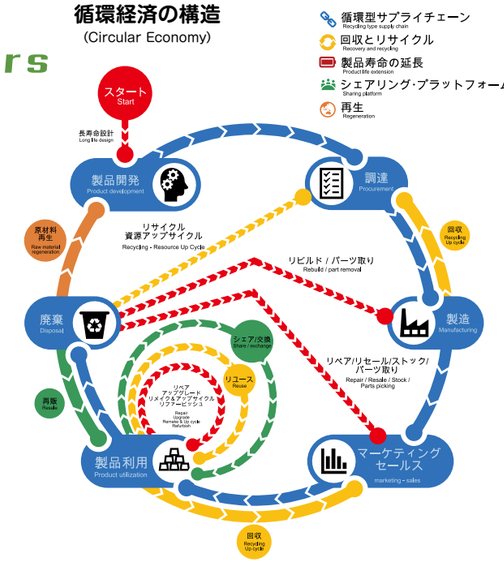
9-1　サイクラーズ株式会社 cyclers

■会社概要

社　　名　サイクラーズ株式会社
代 表 者　代表取締役　福田　隆
設　　立　2020 年 9 月 1 日（令和2年）
資 本 金　1 億円
本　　社　東京都大田区京浜島 2-20-4
事 業 所　本社 / 東京事務所 / 千葉事務所
ウェブサイト　https://www.cyclers.co.jp

■事業概要

・グループの経営企画・財務経理、人事総務等管理部門の統括
・グループ会社からの管理部門業務の受託
・リサイクル業界に関する調査研究及び
　その受託並びにそれに付帯又は関連する業務



9-2　トライメタルズ株式会社 Tri Metals CIRCULAR ECONOMY

非鉄金属製品及びスクラップの販売及び輸出入を目的として設立。
お客様から排出される金属スクラップの収集・運搬及び選別・加工・保管を協力会社（サイクラーズグループ）及び委託会社により行い、輸出及び国内販売に関して、高品質でコストパフォーマンスの良い、資源リサイクルプロセスを実現しております。

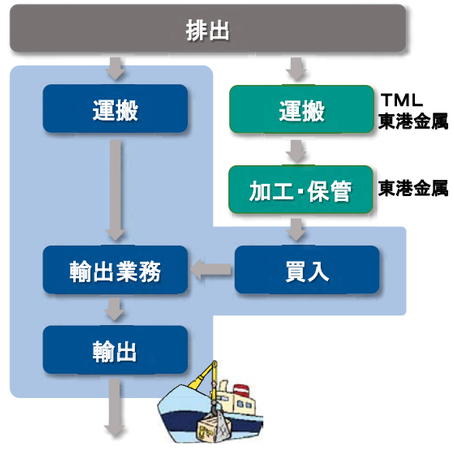
■会社概要

社　　名　トライメタルズ株式会社
代 表 者　代表取締役　福田　隆
設　　立　2007 年(平成19年)3 月
資 本 金　600 万円
本　　社　東京都大田区京浜島 2-20-4
事 業 所　本社 / 東京事務所
ウェブサイト　http://www.trimetals.co.jp/

■事業概要

・鉄鋼、ステンレス、プラスチック、アルミニウム・銅等
　非鉄金属製品の加工処理及び販売並びに輸出入
・製鋼原料の販売及び輸出入
・リサイクル機器並びに中古の建設機械の販売及び輸出入

■事業フロー



9-3　TML 株式会社

平成18年(2006年)、東港金属株式会社の協力会社トライマテリアル(株)として創業し、産業廃棄物の収集運搬業務や一般貨物の輸送業務で業績を積んでまいりました。令和3年(2021年)1月18日に社名を「TML株式会社」に変更し、サイクラーズグループの輸送部門として、ロジスティクスの速度と精度の向上、機能の高度化・国際化を追求し、皆様のご要望に迅速に対応できる物流会社にステップアップすることを目指しております。

■会社概要

社　　名　TML株式会社
代 表 者　代表取締役　青山　貴好
設　　立　2006 年(平成18年)1月
資 本 金　1,000 万円
本　　社　東京都大田区京浜島2-19-10
ウェブサイト　https://www.tml-ce.com/

■環境方針

TML 株式会社は、サイクラーズ並びに東港金属株式会社のグループ会社として同組織の環境方針に同調し、資源循環型社会の一翼を担う産業廃棄物の収集運搬業者として、環境負荷の少ない事業活動に取り組み、社会に貢献できうる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. 当社の事業活動及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当社が行う事業活動及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

（1）各種収集運搬用に供する車両で使用する燃料の削減を図り、環境負荷削減を推進します。

2022 年 1 月 1 日
TML 株式会社
代表取締役　青山　貴好

■社員の主な資格一覧

2022 年 1 月 1 日

資格区分	人数
大型自動車免許	20
フォークリフト運転技能者	19
玉掛作業者	17
小型移動式クレーン運転士	15
車両系建設機械（整地・運搬・積み込み及び掘削用）運転者	12
けん引免許	10
車両系建設機械（解体）運転者	9
普通自動二輪車免許	9
ガス溶接技能者	8
アーク溶接作業者	5
運行管理者	4
整備管理者	3
大型特殊免許	3
床上操作式クレーン運転士	2
高所作業車運転者	2
安全衛生責任者	2
安全衛生推進者	2
救命技能認定	2
職長教育	2
はい作業主任者	1
大型自動車二種免許	1
第二種電気工事士	1
足場の組立て等作業主任者	1
交通労働災害防止担当管理者	1
自動車整備士	1
情報処理検定	1

■沿革

2006年	1月	「トライマテリアル株式会社」として、東京都中央区に一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業及び特定労働者派遣事業を目的として設立
		東京都大田区京浜島に東京営業所を設立
	3月	特定労働者派遣事業許可
	6月	一般貨物自動車運送事業許可
	7月	各地の産業廃棄物収集運搬業許可取得開始
2008年	3月	東京都港区に本社移転
2009年	7月	ISO14001 本社営業所で認証取得（東港金属株式会社と合同認証）
2010年	2月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」の認定取得
2011年	12月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」の認定取得
2012年	3月	東京都及び千葉県で特別管理産業廃棄物収集運搬の優良認定取得
	11月	東京都大田区に本社移転
2014年	12月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」認定更新
2015年	7月~11月	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県で産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2016年	12月	岩手で産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得
2018年	4月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」認定更新
		静岡県で産業廃棄物収集運搬業の優良認定取得
2020年	4月	東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」認定更新
	9月	持株会社サイクラーズ株式会社のグループ会社となる
2021年	1月	社名を「TML株式会社」に変更

9-4　トライシクル株式会社

■会社概要

社　　名　トライシクル株式会社
代 表 者　代表取締役社長　福田　隆
設　　立　2018年(平成30年) 5月
資 本 金　1,000 万円
所 在 地　東京都品川区南大井 6-17-17　U biz 大森4F
ホームページ　http://tricycle.id/

■事業概要

- ReSACO 事業
- EcoDraft 事業
- インターネットサービスの開発と販売
- インターネットサイトの運営
- ソフト開発と販売
- 中古品の販売、加工
- 動画配信、メールマガジンの配信
- リサイクル製品の販売
- リサイクル設備機器の開発と販売

■目指すところ

サーキュラーネットワークを構築し、循環価値を最大化する。

サーキュラーエコノミーの達成には、国内で閉じるのではなく、世界スケールの解決が必要。
国境を越えて資源と価値を流通させ、モノの循環価値を最大化します。
テクノロジーで廃棄物を価値に。歴史が長い分、既存プロセスを脱するのが難しい産廃業界。
私たちは、新しいテクノロジーも古いテクノロジーも柔軟に取り入れ、イノベーションとデジタルディスラプションをつくります。

ReSACO とは、今まで廃棄になっていた不用品をリユースすることで、その価値をできる限り高く保ったまま循環させる（循環価値の最大化）アプリです。

また、リユースできないモノであっても、資源をできる限り資源とすることで。サーキュラーエコノミーを実現します。

リユース品販売会の様子（2022 年 6 月）

https://resaco.id/

エコドラフト with クラウドサインとは、産廃・建廃の委託契約を電子化するサービスです。

従来、紙で行っていた委託契約を電子化でペーパーレスにすることにより、契約書作成の手間や印紙代・切手代等のコストを大幅に削減します。

合意締結部分には弁護士ドットコムの運営する「クラウドサイン」を利用しているため、安全安心に締結できます。

また、クラウドサインとは API 連携を行っているため、エコドラフトで作成した電子契約書をシームレスに合意締結まで行うことができます。

https://ecodraft.id/